

医薬経済・イノベーション評価研究会（略称：キャノンHTA研究会）

2016年1月13日（水）開催 第38回研究会 議事録

講演「TPP と日本」

キャノングローバル戦略研究所研究主幹・経済産業研究所上席研究員 農学博士 山下一仁

昨今話題の TPP について基礎からわかりやすく説明いただいた。食の安全性や医療について、巷で流布している論議の多くがまだ誤解に基づいており、政府によるさらなる説明が必要であると考えられた。取り上げられた論点は以下の通りである：

1. TPP 交渉参加 12 カ国の経済規模は 3100 兆円で、世界全体の 4 割を占める。
2. TPP 経済圏の市場規模（人口）は 8 億人で世界全体の 1 割を占める。
3. 食の安全を軸とする TPP 反対論は誤解によるところが大きい。
4. TPP 加入により他国の市場へのアクセスの増加が期待でき 新たなビジネスチャンスが生まれる。
5. 減反による国内の保護は結果として農業の衰退を生む。国際的な競争力を助長していくべき。

次回開催予定は 2 月 17 日

文責：研究会メンバー 山部薫